

学 技 術 界 報

日仏原子力技術会議

主催 フランス原子力技術協会 (ATEN), 日本原子力産業会議

後援 フランス原子力庁 (CEA), 日本原子力委員会

日時 11月12日(月)~14日(水)

会場 都市センター (赤坂プリンスホテル前)

参加 参加費無料, 但し参加者は前以て登録が必要で
す。(10月31日までに申込のこと)

担当者 港区芝田村町1-1日本原子力産業
会議事業課 (電話 591-6121)

第6回金属表面技術国際会議

主 催 金属表面技術国際協議会 (International
Council for Electrodeposition and Metal
Finishing)

担当学会 Institute of Metal Finishing (英国)

日本代表部 社団法人金属表面技術協会

会 期 1964年5月5日~8日 (出席者の登録5
月4日)

場 所 Kensington Palace Hotel (英国ロ
ンドン)

申込方法

I. 論文提出 (会議に出席せずに論文のみを投稿する
こともできる)

申込書式 著者の氏名, 住所, 所属機関名, 論文題
目, できれば簡単な概要を付すること) を和文お
よび英文にて記入, 会議出席希望の有無を付記す
ること.

申 込 先 下記代表部

申込締切 本年12月25日必着

論文募集の対象 ホウロウ以外の金属表面技術に関
する研究論文, 技術上の開発報告, あるいは最新
の技術.

使用言語 論文は英語, 独語, 仏語のいずれかであ
ること, ただし希望の向は代表部で翻訳者を紹介
します.

論文原稿 審査の上, 原稿提出を求める.

原稿の切 1963年10月1日英国の担当学会必着.
詳細については申込者に対し代表部より直接連絡し
ます.

II. 出席

特にお世話をご希望の方は直接代表部あてご連絡下
さい.

III. 日本における連絡機関 (日本代表部)

社団法人 金属表面技術協会

東京都千代田区神田岩本町2共同ビル

(電話 291-3283)

第5回日本アイソトープ会議

主催 日本原子力産業会議並びに日本放射性同位元素
協会

時所 昭和38年5月21日より3日間東京において

論文募集

I. 研究発表 (基礎, 共通技術) 課題:

アイソトープおよび放射線に関する物理, 化学, 測
定, 機器, 遮蔽, 安全取扱および施設などアイソト
ープ並びに放射線を実際に使用する基礎となる研究
あるいは技術に関するもの.

II. シンポジウム (応用成果) 課題:

工学部門—(1) 現場におけるトレーサー利用,

(2) アイソトープ利用計測器の現場における使用.

(ほか)に理学, 放射線化学, 医学, 薬学, 生物学,
農学の各部門)

応募希望者は部門別, 論文題名, 所属, 住所, 筆者
名を明記して11月15日までに本文600字以内の日文
アブストラクト (B5判200字詰原稿用紙を用い横
書きとする) 1部を添え, 東京都港区芝田村町1の
1日本原子力産業会議第5回日本アイソトープ会議
事務局 (電話 591-6121) へ.

第21回ドキュメンテーション講習会

主催 文部省

時所 (東 京) 11月27日(火)~30日(金) 10時より
東京大学医学部総会中央館会議室

(名古屋) 12月4日(火)~7日(金) 10時より
名古屋市公会堂舞鶴図書館

対象 学術誌 (大学・学会) の編集関係者, 大学・研
究所の研究者, 文献対象者, 大学図書館職員.

申込 聴講無料 (文部省大学々術局情報室申込. 定員
約200名)

電子装置の使い方講習会

主催 電気学会東京支部・電気通信学会東京支部

期日 11月26日(月)~30(金) 毎日午後1時~5時

会場 日本電機工業会講堂 (千代田区永田町2-1)

科目 1. トランジスタおよび回路 2. デジタル回
路 3. 直流増幅器 4. 小型管・中型管の使い
方 5. 半導体素子の制御への応用 6. 大型管
とその応用例 7. 大電力パルス回路

聴講料 会員外 1,200円

申込先 電気学会東京支部 (千代田区有楽町1-3 電
気クラブ内)

第6回塑性加工シンポジウム (主題: 押出・鍛造加工)

主催 日本塑性加工学会, 共催日本機械学会

協賛 日本鉄鋼協会, 日本金属学会, 精機学会

日時 11月20日 (火) 9:00~17:10

場所 名古屋市工業研究所大講堂

前刷申込先 塑性加工学会または機械学会

学術講演会およびシンポジウム

主催 理化学研究所

日時 12月6日(木)~8日(土) 9時半から

場所 神田学士会館

研究発表

特別講演 高分子合成の進歩(村橋俊介), サイクロド
ロンについて(熊谷寛夫)

シンポジウム 超高速切削の利害, 深海研究, 芳香第
三級アミノキシドの化学, 制ガン抗生物質, 五
酸化バナジウムによる酸化, 超高エネルギー現象,
フルライトの物理および化学